

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和3年5月24日（月）
- 2 確認箇所
Dタンクエリア
- 3 確認項目
Dタンクエリア連結管の取り外し状況

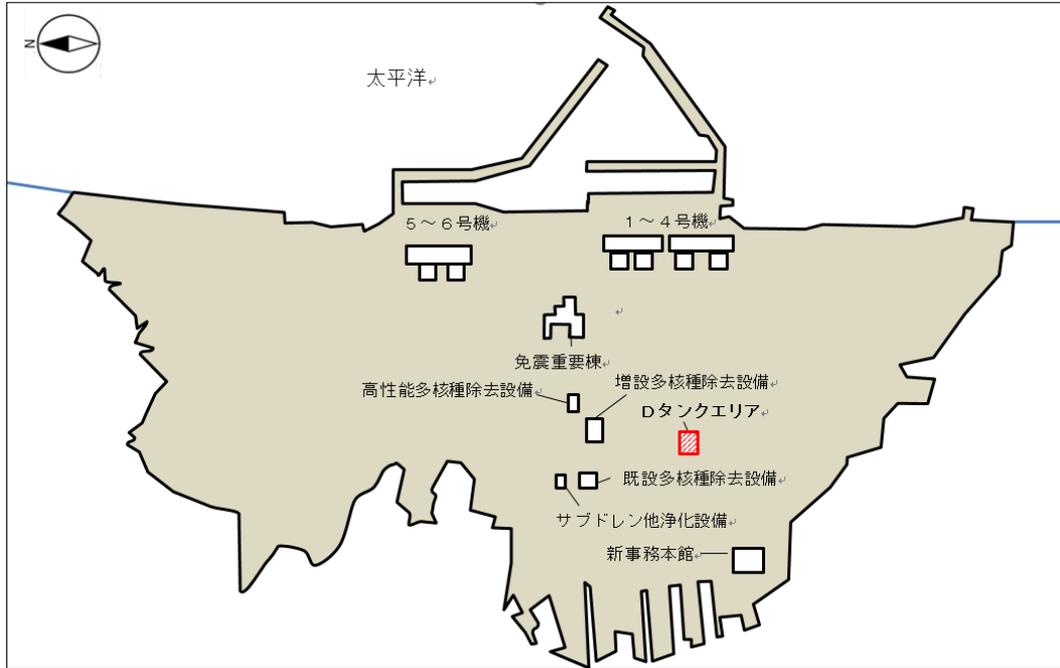
4 確認結果の概要

令和3年2月13日の福島県沖を震源とする地震によりDタンクエリア全41基のタンクの一部に最大190mmの位置ずれが発生したことに伴い、タンクとタンクを接続している連結管にも偏心や伸縮の変位が生じた。東京電力では変位量が一定範囲※を超えたもの12カ所について、漏えい防止の観点から、連結管の取り外し作業を行っており、今回、状況を確認した。

なお、前回の現地確認（3月5日）では、連結管の変位状況及び変位部から水の漏えいがないことなどを確認していた。（図1、写真1）

- ・対象となる連結管全てが取り外され、開口部には金属製の閉止板が取り付けられていた。また、取り外された部位から水の漏えいがないことを確認した。（写真2）
- ・連結弁は「全閉」となっており、ハンドル部には誤操作防止用のチェーンロックが取り付けられるとともに、「操作禁止」の注意書きが掲示されていた。（写真3）
- ・東京電力によれば、今後、連結弁の交換について計画していくとのことである。

※ 安定的に機能を発揮できる目安としてメーカーが提示した偏心が150mm、伸縮が±50mmの範囲内であり、東京電力によれば、この変位量を超えても直ちに破断、破損は生じないとしている。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
Dタンクエリア外観
(北東側から撮影)



(写真2-1)
連結管取り外し前の状況
(令和3年3月5日撮影)



(写真2-2)
連結管取り外し後の状況
(令和3年5月24日撮影)
(注) 写真2-1とは異なる箇所です。



(写真3)
チェーンロック取り付け等の状況
(表示は「操作禁止」の旨)

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。